JAFRA NEWS
公益社団法人 日本鉄道広告協会 会報
Japan Association for Rail Advertising

8月号
Vol.79
2023年8月1日発行

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階
TEL：03-5791-1808　FAX：03-3443-1616　メールアドレス：information@j-jafra.jp
URL：https://j-jafra.jp/

巻頭レポート

我が人生、「奥」のほそみち

表示灯株式会社
仙台支社長
奥　伸太郎

月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり…とは、あまりにも有名な芭蕉の「おくのほそ道」の書き出しの部分である。

人の移動するところにナビタあり。

私は兵庫県西宮市で生まれ育ち、縁あって現在は表示灯株式会社の仙台支社長を務めている。ご存知の方がいらしたら嬉しい限りだが、表示灯では、全国の電鉄各社にご活用いただいている駅周辺案内図「ナビタ」のほか、サインやアドプロモーション支援も行なっている。が、読者諸兄に最もイメージしていただきやすいのは、何をおいても駅周辺案内図「ナビタ」だろう。

東北地方の巨大ターミナル・仙台駅構内には、4か所にナビタを設置していただいている。最も利用率が高いのは、仙台駅新幹線改札から西口に拡がる吹き抜け、左右に1台ずつ設置しているナビタであろうと思う。また、その中央には液晶が6面入った巨大なサイネージを設置していただいている。特にサイネージは仙台駅の中でも屈指の「待ち合わせ場所」としても機能しているこのナビタの正式名称は「仙台駅西口2階多言語4Kナビタ」という。ナビタは通常、設置県内、特に駅周辺施設・店舗情報を発信するが、このナビタは少しばかり規格外である。東北6県・約415キロメートルという広大な地図を掲載しており、ボタンで地図の拡大・縮小もで

仙台駅西口2階 多言語4K ナビタ

きる。東北地方唯一の政令指定都市・仙台市に設置されている４Ｋナビタとして、東北復興のみならず観光推進の要素として求められる多言語表示（６言語／日本語・英語・中文簡体語・中文繁体語・韓国語・フランス語）にも対応している。

言わずもがな、仙台駅は巨大ターミナルであるから日常的にかなりの人通りがあり、しかも堂々たる６面ディスプレイである。日頃から、地図案内の機能に加えてこの大いなる駅の人流に必要な情報も発信する必要があると私は考えており、現在の機能に満足することなく、将来的に気象警報の発令周知を盛り込むなど生活者・移動をする人々のニーズに応える情報発信施策を日々検討している。

東北６県・約 415km の地図。言語選択ボタンもある。

行動制限解除前の仙台駅前。人通りは多い（2023 年２月）

派手ではないが、目のゆく場所に表示灯。

一方で我が表示灯は、駅ホーム等においても人々の安全を支えている。例えば、仙台駅の11・12・13・14番線（東北新幹線ほか）ホームの足元に注目してほしい。

ホーム上に塗布されているこの乗車待機列の案内表示は「ノンスリップＯＮＥ」といい、昨年秋から仙台駅にて順次導入いただいている弊社の高耐久防滑フロアサイン商品である。歩行エリア上に塗布される白線などは水などに濡れると滑りやすくなる特性を持つことはご存知の通りだ。この商品は名前にあるように従来品に比べて滑りにくく、施工も１～２時間程度で済む。デザイン面の上から特殊なトップコートを塗布するゆえに褪色もしづらく、長くホーム上で摩耗に耐えてくれる。

ノンスリップＯＮＥは、東北エリアでいち早く仙台駅に導入をしていただいた。スマートフォンやタブレット端末等を操作する機会が多い現代人の視線の先は足元にある。利用者に安全歩行への協力を仰ぎつつ、ホーム上のさらなる安全確保の観点から、日々安全運行・安全確保に心をくだいているすべての人を目立たないところで支え続けたい。関係各位の安全への想いをノンスリップＯＮＥに乗せ、東北エリアで広く浸透していくことを願っているし、乗客への明快な情報発信・喚起手段の一として全国でのさらなる飛躍も期待している。

ところで、８月の仙台はイベントが目白押しである。華麗で優美な「仙台七夕祭」の開催も控えている。行動制限が解除された夏のレジャー先として、宮城県が誇る観光地のにぎわいにも当然のごとく期待が高まる

東北新幹線「常盤グリーン」と「茜色」の待機列案内表示

美しい発色をキープする仙台駅の「ノンスリップ ONE」

ばかりだ。全国の皆さんにぜひ、うつくしい宮城、東北の夏を味わいに足を伸ばしていただきたい。

仙台駅コンコースには、先般触れた「４Ｋナビタ」の他にも大きなナビタが設置されていることも忘れずにお伝えしておく。

全国のナビタは年に一度、掲載されている地図そのものが更新されている（地図の四隅いずれかに弊社のマスコットキャラクター「ナビタくん」と共に地図の出力更新日が明記されている）。暑い街中に繰り出す前の事前リサーチとして、土地勘を掴むための参考資料としても活用していただきたい。

今回の寄稿にあたり、タイトルをどうつけるか迷いに迷ったが、あえて「奥のほそみち」とした。これは私自身の苗字をもじったものではあるが、表示灯は本社が2か所あり、我が仙台支社に近い本社機能は東京本社が担っている。まさに、お江戸と陸奥、さらに名古屋本社を行き交う「奥」とは、私のことに他ならない。

日本の鉄道各社の優秀緻密な旅客機能や多岐にわたる観光事業の創意工夫には日頃から私自身も家族も、もちろん表示灯の仲間たちも助けられ、楽しませていただきお世話になっている。

我々にできる恩返しは、仙台支社一丸となり、東北エリアの復興とさらなる発展、あらたなにぎわいの醸成に貢献することだと心得て日々精進することだと考えている。最後に私、「奥」の奥を務めてくれている妻、また私の心の潤いである家族にも感謝の意を伝えたい。

ナビタとスマホを駆使して、目的地を確かめる

表示灯マスコットキャラクター「ナビタくん」
全国のナビタ利用時にぜひ探してみてください。

委員会からのお知らせ

総務・財務委員会

2022年度 年次報告書を発行

ＪＡＦＲＡの２０２２年度１年間の活動成果を記録として留めてあるほか、広告業界の動向、地球温暖化防止キャンペーンの成果など事業報告を掲載している。

２０２３年６月27日発行
Ａ４サイズ　96ページ　４色

広場

「四国のものがたり列車」

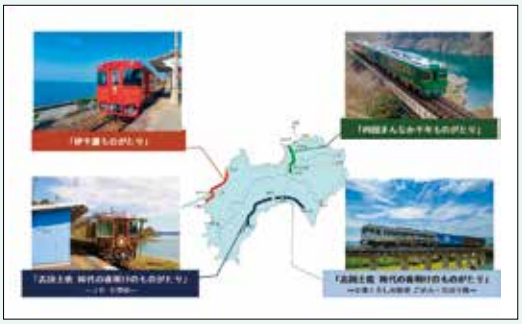
理事　久保　正（㈱ジェイアール四国企画）

５月に感染症分類も５類となり、「コロナ」というワードを聞く機会は大幅に減少しました。通勤電車などではマスクの着用が目立つものの、皆様気持ちのマスクはすでにはずれ、着実に人流は回復しています。

多くの人が夏休み、秋の行楽シーズンに「今年はどこに出かけるか」、昨年より安心して計画をたてているところではないかと思いますので、ＪＲ四国が運行する「ものがたり列車」の紹介をさせていただきます。

というのも私は昨年６月現職につくまでは、ＪＲ四国「ものがたり列車推進室」で観光列車の企画に携わらせていただいたからです。

現在ＪＲ四国では３本のものがたり列車を運行しております。愛媛県を走る「伊予灘ものがたり」、香川県～徳島県を走る「四国まんなか千年ものがたり」、高知県を走る「志国土佐 時代（トキ）の夜明けのものがたり」です。



四国のものがたり列車路線図

列車の名づけ親は、ＪＲ四国の半井真司現会長で、列車名だけでなく３両編成の伊予灘ものがたりは１号車が茜（あかね）の章、２号車が黄金（こがね）の章、３号車が陽華（はるか）の章、また千年ものがたりは１号車が春萌（はるあかり）の章、２号車が夏清（なつすがし）・冬清（ふゆすがし）の章、３号車が秋彩（あきみのり）の章、夜明けのものがたりは１号車がＫＵＲＯＦＵＮＥ、２号車がＳＯＲＡＦＵＮＥと各号車の名称も列車のコンセプトにあわせこだわりをもって名付けています。

そもそも「ものがたり列車」とは、車内でアテンダントによる沿線ガイドやおもてなしがあり、地元産品にこだわった食事や飲み物などが楽しめる列車で、２０１４年７月26日初代伊予灘ものがたりが運行開始して10年目に入るところです。

時代に逆行しているようですが、あえてゆっくり走り、ひと手間かけてお客様をおもてなしするのが魅力です。

吉野川橋梁を渡る千年ものがたり

安和駅停車中の夜明けのものがたり

私の一番のおすすめは、２～３泊かけて３列車を乗り継ぎ四国４県を巡る旅です。

スタートは「日経トレンディ観光列車ランキング２０２２」で１位に輝いた伊予灘ものがたり、伊予灘の景色をみながら、「砥部焼女性作家グループとべりて」が作ったコーヒーカップでモーニングコーヒーを、２日目は高知、四万十ひのきの器に盛られた土佐料理を、締めくくりは徳島県に代々言い伝わる、「遊山箱」に詰められた地元料理と、伝統工芸品香川漆器の酒器で味わう地酒の飲み比べを・・・、乗り継ぐ順番によっては違う楽しみ方もあります。車窓にゆっくり流れる景色と、四国八十八ヵ所のお接待文化が根付く四国の方々からのあたたかな歓迎をうけることができます。

10月は伊予灘ものがたりで下灘駅の夕日、11月は千年ものがたりで大歩危・小歩危峡の紅葉がまさに最盛期。

すっかりＰＲになってしまいましたが、ここ数年でたまったストレスを「四国のものがたり列車の旅」で発散してみてはいかがでしょうか。

２代目伊予灘ものがたり（高野川 - 伊予上灘）

次回の広場もお楽しみに。

2023年度定期総会を開催

6月27日（火）14時00分、ホテルメトロポリタン池袋において、多数の会員が出席のもと、2023年度定期総会を開催し、2022年度事業報告及び決算、協会役員の選任案などを審議した。

審議内容は以下のとおり。

第1号・第2号議案

2022年度事業報告及び決算報告については、榎本専務理事の説明と、山本一広監事代表の監査報告の後、挙手による採決の結果、委任状によるものを含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本議案は提案通り議決された。

第3号議案

人事異動等に伴う理事の選任

理事の任期は定款第16条1項の規定により就任後2年目の定期総会終結の時までとなっているが、2022年定期総会後、9名の理事が人事異動等の事由により退任を希望しているのでこれを了承し、5月24日に開催した第1回理事会において承認された理事9名を下記の通り新たに選任したい、なお、任期は定款16条3項の規定により前任者の残任期間としたいと発言があり、採決の結果、委任状によるものを含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本案は提案通り議決された。

なお、副会長、専務理事、常任理事の役職については、定款第14条2項に基づき総会終了後、臨時理事会を開き選出したものである。

監査報告をする山本一広監事

〈新任〉

副会長（2名）

伊藤　義彦　㈱JR西日本コミュニケーションズ

川田　博之　㈱メトロアドエージェンシー

常任理事（1名）

許斐　元文　JR九州エージェンシー㈱

専務理事（1名）

藥師　晃　公益社団法人日本鉄道広告協会

理事（6名）

新井　秀夫　㈱電通名鉄コミュニケーションズ

鈴木　憲　東急㈱

竹島　博行　東日本旅客鉄道㈱

中村　隆　㈱日交西部本社

西本　雅彦　南海電気鉄道㈱

丸山　智巳　東京藝術大学

〈退任〉　9名

石川　正裕、糸洲　美和、榎本　稔、表　輝幸、河田　祐治、北郷　悟、野中　雅志、肥後　謙一、渡辺　文雄（敬称略）

報告事項

2023年度事業計画

コロナ禍も4年目となり、社会の対応も落ち着きを取り戻しつつあり、次なる段階に移りつつあると考えられます。また一方では、ロシアのウクライナへの軍事侵攻やエネルギー、原材料費の高騰等により、これまでより一層厳しい環境に直面し、社会の様相はますます不確実な状況になっています。

昨年、鉄道はこうした大変厳しく大転換の時代に開業以来150周年を迎えました。人口減少による地方路線の苦境やコロナ禍の影響により、JR各社は赤字経営に直面しました。その経営環境はコロナ禍が終息しても、人口減少や少子高齢化のため以前のような状態に戻ることは難しいのではないかと言われていますが、開業時の原点に立ち戻って地域の期待や利用者のニーズに的確に応え、その一つひとつに解を出していくことで、必ずや再生・復興し、十二分に本来の使命を果し、役割を担って行くことと確信しています。次なる50年に向けた歩みを止めないことに尽きます。

鉄道事業のフィールドで事業を展開している鉄道広告にとって、この間の厳しさは鉄道事業と何ら変わりはなく、鉄道広告は鉄道事業がいか

なる状況下にあろうとも、本来の役割を堅実に果たしていくことが重要です。現在は大転換の時代であり、情報化の時代でもあります。企業においては、経営の在り方や考え方、働き方に至るまで大きく変わり、個人レベルにおいても人生観、働き方、価値観等々に至るまで変ってきました。こうした社会・生活場面における変化は、振幅の大小はあるにせよ止むことなく、むしろそのスピードは一層増していると思われます。この変化をピンチではなく、発想の転換によりチャンスと捉え、前向きにそして積極的に物事に取り組むことが必要です。そのためには、まず組織における経営方針を徹底し、いかに時代の先取りをしていくかに掛っています。

２０２３年度はこうした環境の中、鉄道広告の持つ公益性と果たすべき役割をあらためて認識したうえで、活力のある協会づくりや委員会のより一層の活性化に注力し、会員の皆様方のご協力を得て、次なる項目を重点課題として最優先に取り組んでいきたいと考えています。

1．広告価値向上　2．新規分野の開拓　3．空き媒体の解消　4．企業・地域間連携　5．環境をはじめとする脱炭素社会の実現など　6．新規会員の加入促進

具体的な各施策については以降のとおりですが、これまで取り組んできた諸施策にも創意工夫を加えるとともに、また新たな施策にも取り組み、これらの一つひとつの課題を解し、着実に実現することがマーケットのニーズに応えることに繋がり、そして鉄道広告の復権になると考えています。

1．各委員会の主な活動目標

総務・財務委員会

・新規会員の入会慫慂
・支部活動活性化支援
・年次報告書の作成
・他広告団体との交流

総務・財務委員会
稲川一委員長

今年度の活動目標として、例年行っている支部活動活性化支援、お手元には２０２２年度のものがあると思いますが年次報告書の作成、他の広告団体との交流を行っていくのはもちろんですが、重点課題にもありました新規会員の入会慫慂は当然取り組んでいきます。また、それ以上にこの不安定な状況の中で退会する会員が出ないようにＪＡＦＲＡの活動の充実にも努めていきたいと考えております。

稲川一総務･財務委員長

倫理委員会

・倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握
・鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
・鉄道利用マナーＵＰキャンペーン実施
・広告倫理に関する事例研究の実施
・日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

倫理委員会
神田橋治委員長

社会基盤のひとつである鉄道における交通広告は、社会的に影響力が大きく、また、関心が高いことから倫理性を保持することが大変重要になっております。倫理委員会では今年度も昨年度に引き続き記載されています活動目標に基づき各委員会及び各支部と連携を図りながら活動してまいります。本年度もよろしくお願いします。

神田橋治倫理委員長

美観風致委員会

・環境委員会との共同による第17回地球温暖化防止キャンペーンの実施
・美観事例の収集と紹介
・美観風致に関する教育研修

美観風致委員会
滝久雄委員長代理
榎本専務理事

美観風致委員会としましては、

環境委員会

・環境保全への取り組み状況の実態把握

環境委員会との共同で行う第17回地球温暖化防止キャンペーンが最大の業務ですが、おかげさまでこれまでに16回実施しまして、日本を代表する著名なアーティストの皆さまにご協力いただき大変、鉄道のメディアの迫力を感じることができると思います。また、アーティストのブランドアップにも役に立っているようで喜んでこの企画に参加、応援していただいています。また、美観事例の収集と紹介、美観風致に関する教育研修ということも活動してまいります。

滝久雄美観風致委員長

新井会長あいさつ

２０２３年の総会にご出席いただきありがとうございます。また本日は遠いところ足をお運びいただき、またご多用の中、皆様とご一緒に総会を開催できることをありがたく思っております。

振り返りますと２０２２年度は皆様の絶大なるご支援のお蔭で無事に事業計画を達成することができました。ご存知のようにコロナ禍が次第に回復基調にあるとはいえ経済は必ずしも順調回復したかといえば、必ずしもそのような状況ではありませんでした。加えてウクライナの問題、米中の問題、様々な諸問題を抱えながら、内外共に大変複雑な状況の中で推移をしてきました。その中にあり、鉄道も大変厳しい状況でありますが、私たち広告業界が一緒にそれを下支えする状況を作っていかなくてはなりません。むしろ鉄道広告が鉄道の前を歩いて鉄道を活性化していくことが重要な役割ではないかと思っています。これまで取り組んで来た様々なノウハウ、ビジネスモデルを再構築してさらに前進、成長していかなければいけません。広告業界全体ではコロナ禍であっても順調に成長していますが、業種によってその濃淡がはっきりしているということです。ご存知のように最近では新聞を読む人、テレビを視聴する人も数が少なくなっています。一方でｗｅｂ、ＳＮＳといったものが大変伸長していることに代表されるように、広告そのものも大きく変貌しています。社会が変貌している限り、私たちはもっとそれより先に進んで行かなければなりません、社会のニーズがもっと大きく変わって欲しいということが、まずもって広告業界に寄せられている期待ではないかと感じています。順調に来たとはいいがたいところもありますが、それでも底堅く推移をしてきたということです。そういった状況を踏まえ２０２３年度は順調にスタートし、成長していきたいと考えています。大きく変わりつつある世界に立ち会っているので期待値も高くなっています。先取りをしながら社会に私たちは何が提案できるか、あるいは存在感を示しつつ、皆様と共有しながら取り組んでいきたいと思います。

既存ものの上に胡坐をかいているのではないとは思いますが、そういったことからドラスティックに変えて行かない限り、広告業界の未来は見えてこないと思います。もう一度、広告の原点とは何なのか、自分のビジネスモデルは何なのかということを考えていかなくてはなりません。広告の非常に重要な役割には社会の先を提示することです。２０２３年を期待して更に一歩でも二歩でも前進していきたいと考えておりますので、皆様に感謝を申し上げますと共に、一層のご厚誼を賜ればと思います。

挨拶する新井良亮会長

・環境にやさしい素材の広告媒体情報の収集
・美観風致委員会との共同による第17回地球温暖化防止キャンペーンの実施

環境委員会
冨田栄次委員長

当委員会は今年度、記載されています3つの柱を中心に進めてまいります。この数年間会員各社のご協力の元、各社社内で実施されている環境対策の内容について担当者の方からお話を伺い、まとめたものをＪＡＦＲＡＮＥＷＳに掲載するとともに、ＪＡＦＲＡのホームページにも掲載してきました。他の会員各社にとって有益な情報を提供すると同時に啓蒙活動にも努めてまいります。また事務局から新たな視点での提案がありましたので、具体的にはドアガラス環境配慮型の提案をしている会社があるということで、すでにその会社を訪問し、商品についてもお話を伺っているということです。今年度の委員会活動としてそういう商品を紹介するとともに、他の事例についても情報収集をして皆様に紹介できるようにしたいと考えています。

冨田栄次環境委員長

それが好評であればそれに続く商品の紹介をしたいと考えています。各社の環境対策の情報提供についても引き続き実施していきたいと考えており、ご協力いただく会社についてはこちらから指名させていただきますが、その際は積極的にご協力いただけますようお願いいたします。

安全委員会

・安全管理に関する調査研究の推進
・安全作業に関する教育研修の実施

安全委員会
竹澤康行委員長代理
榎本専務理事

安全管理に関する調査研究の推進、安全作業に関する教育研修実施について進めてまいります。

標準化委員会

・２０２３年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開

標準化委員会
大塚尚司委員長

全国広告料金表を毎年更新改定してホームページに掲載しておりますので、ご活用いただければと思います。

大塚尚司標準化委員長

人材育成委員会

・「交通広告ビジネス概論　２０２３」の発行
・鉄道広告実務研修の実施
・セミナー、シンポジウムの開催

人材育成委員会
肥後謙一委員長代理
榎本専務理事

「交通広告ビジネス概論　２０２３」の発行、鉄道広告実務研修の実施、セミナー、シンポジウムの開催を中心に活動してまいります。

技術開発委員会

・デジタルテクノロジー等を活用した交通広告の価値向上や価値訴求に資する効果的先進的な取り組み事例（メタバース含む）の収集、紹介
・交通広告が他媒体との競争力を維持していくための、新技術を活用したメジャメントやプログラマティックＤＯＯＨ等の先進的な取り組み事例の収集、紹介

技術開発委員会
野中雅志委員長代理
榎本専務理事

デジタルテクノロジー等を活用した交通広告の価値向上や価

値訴求に資する効果的先進的な取り組み事例（メタバース含む）の収集、紹介、交通広告が他媒体との競争力を維持していくための、新技術を活用したメジャメントやプログラマティックDOOH等の先進的な取り組み事例の収集、紹介を目標に活動してまいります。

調査研究委員会

・効率的なメディアプランニングに関する研究の促進
・e-販促データシステムの改良と利用者の拡大
・e-販促データシステム研修の実施（活用方法、活用事例の紹介）

調査研究委員会
栗原圭一委員長

議案書にありますとおり、効率的なメディアプランニングに関する研究の促進、e-販促データシステムの改良と利用者の拡大、e-販促データシステム研修の実施（活用方法、活用事例の紹介）、拡大ですが、これは徐々に安定してe-販促データシステムを使っている方がいらっしゃいますので、非常に業界のために役に立っていると思っています。データシステムをどうやって使うかという事例について説明会を東京と大阪で実施いたします。

栗原圭一調査研究委員長

業務近代化委員会

・業務近代化に関する課題の提言
・働き方改革の検討
・デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

業務近代化委員会
三池元委員長

議案書にある3つのテーマで進めていきますが、交通広告はまだまだ労働集約の部分が多いですので、いかにデジタル技術を使って効率化と働き方の改革へ持っていかれるかがポイントだと思っていますので、本年度もよろしくお願いします。

三池元業務近代化委員長

PR委員会

・「JAFRA NEWS」の編集・発行の継続と、掲載内容の充実
・JAFRAホームページ改良による情報発信の強化
・鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設
・関係する外部機関との連携強化

PR委員会
厚地純夫委員長

私どもの協会の主力のコミュニケーションツールとありますように、「JAFRA NEWS」とホームページです。これを軸に充実させていくことがミッションだと考えております。また、各種啓蒙キャンペーンの時にこうしたツールを上手く機動的に使ってまいります。

厚地純夫PR委員長

アカウンタビリティ向上委員会

・標準化委員会、調査研究委員会、業務近代化委員会と連携してアカウンタビリティ拡充・データ整備
・関東交通広告協議会、日本広告業協会と連携して調査実施、データ整備
・交通広告共通指標推定システムの運用及びシステム利用会員の拡大
・交通広告共通指標推定システム研修の実施

アカウンタビリティ向上委員会
大塚尚司委員長

昨年度も11社さまには大変ご協力いただきありがとうございます。調査の結果、交通広告の効果というものは非常に見えていますので、コロナ禍交通媒体の販売に大変苦戦しておりますが、実売、販売につながるような調査を引き続き実施していきたいと思っています。

2. 各支部の主な活動目標

北海道支部

・支部総会・懇親会の開催：7月
・媒体講演会の開催：8月
・媒体視察研修会の開催：10月
・交通広告勉強会の開催：11月
・新年懇親会の開催：2024年1月
・媒体連絡会の開催：不定期
・新規会員の入会慫慂（以降各支部共通）
・第17回地球温暖化防止キャンペーンの実施（以降各支部共通）
・鉄道利用マナーUPキャンペーンの実施（以降各支部共通）

北海道支部
長谷川潤支部長

北海道支部の活動につきましては、議案書に記載のとおり進めてまいります。なお、支部総会、理事会、懇親会等7月26日（水）に開催予定となっていますが、新井会長も出席予定です。これまで北海道の媒体も非常に苦戦をしていたのですが、コロナ禍でなかなか開催できなかった講習会、研修会等開催する予定です。北海道支部会員の皆様と連携を深めることで媒体の利用促進を図ってまいりたいと思います。

長谷川潤北海道支部長

東北支部

・支部総会・懇親会の開催：7月
・支部セミナー等の開催：7月
・媒体視察研修会の実施

東北支部
百々潤司支部長代理
榎本専務理事

支部総会・懇親会・支部セミナーの開催を7月19日に予定しています。媒体視察研修会の実施も予定しています。

首都圏支部

・支部総会・懇親会の開催：7月
・支部セミナーの開催：7月、11月、2024年3月
・支部幹事会の開催：7月、2024年3月
・鉄道広告実務研修の実施：10月
・地域間交流の促進、交通媒体広告会との連携

首都圏支部
赤石良治支部長

研修などの予定は記載のとおりです。内容につきましては昨年も時代を切り拓くような様々なビジネスを展開する会社の実務担当者を講師に招き、その方々がOOHにどのような期待をかけているのか、その中でも鉄道広告にはどういった魅力があるのかということを深掘りする内容をお話しいただいています。今年度も、大きく環境が変化する中で鉄道広告、OOHがどう力を発揮できるかを注力していきたいと思います。また、各社が様々な新しい取り組みをしていますので、情報の共有化を進めてまいります。JR東日本について言いますと、過日社長会見で発表していましたが、新宿、秋葉原、上野等にイマーシブ、没入感のあるメディアを作るという話をしていましたが、大型化の話もありますが、一方東京都のキャップ&トレード制度を使って実質カーボンセロとすることも発表されています。広告

赤石良治首都圏支部長

主、生活者はどういったものを求めているかをきちんと共有できる取り組みを支部としても進めていきたいと考えています。

中部支部

・支部総会・意見交換会の開催：7月28日
・支部セミナーの開催
・支部幹事会の開催

中部支部
厚地純夫支部長

例年のとおり支部総会の日程が決まっています。また、支部セミナーについては秋を考えております。今年はコロナ感染症が5類に移行しましたので、実際に会員が集って意見交換するような場をできるだけ多く作りたいと考えているところです。

近畿・中国・北陸支部

・支部幹事会の開催：7月、2024年3月
・支部総会・意見交換会の開催：7月19日
・支部セミナーの開催：7月19日
・交通広告実務研修会の実施：9月
・関西交通媒体社広告会、関係諸団体との連携

近畿・中国・北陸支部
野中雅志支部長代理
榎本専務理事

支部幹事会を7月19日と2024年3月の2回を予定しています。支部総会・意見交換会を7月19日、同日に支部セミナーの開催を予定しています。9月には交通広告実務研修会の実施、その他、関西交通媒体社広告会、関係諸団体との連携を図ってまいります。

四国支部

・支部総会・懇親会の開催：6月
・媒体視察研修会の開催：11月
・支部講演会・意見交換会の開催：2024年2月

四国支部
久保正支部長

四国支部では会員の皆様にできるだけリアルな交流を深めるべく、昨年度も6月に支部総会・視察研修・支部講演会、全てリアルで開催しました。今年度も6月29日に支部総会、11月に媒体視察研修会、2024年2月に支部講演会を予定しています。

久保正四国支部長

九州支部

・支部総会・懇親会の開催：2023年8月8日
・支部セミナーの開催：2023年8月8日
・支部運営会議の開催：7月、2024年3月
・西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携
・JAFRA NEWSへの掲載及び本部各委員会との連携強化

九州支部
許斐元文支部長

本年度の活動計画については記載のとおりです。8月8日に九州支部総会・懇親会・セミナーをホテルニッコー福岡にて開催します。併せて講演会を開催する予定です。この講演については、新井会長に講演いただく予定です。コロナ禍でなかなかお越しいただくことがかないませんでしたが、今回、一同楽しみにしています。また、九州鉄道広告会をはじめとして、福岡市地下鉄交通広告会等各種団体との連携強化や情報共有を図りながら九州の鉄道広告界の活性化に取り組んでまいります。

許斐元文九州支部長

3. 今後の協会行事計画

・理事会
第2回　12月7日（木）14時30分
㈱ジェイアール東日本企画　10階大

会議室
第3回　2024年3月7日（木）
15時30分　㈱ジェイアール東日本企画　10階大会議室
・年賀会　2024年1月5日（金）
15時30分　広告界合同年賀会　帝国ホテル　孔雀の間

この他、2023年度予算、第17回地球温暖化防止キャンペーン展開計画についての説明があり、以上をもって14時50分、2023年度定期総会は滞りなく終了した。

以上

なお、これに先立つ5月24日に開催した第1回理事会及び、6月27日定期総会後に開催した臨時理事会において、左記の項目が承認された。

副委員長の委嘱

○美観風致委員会　副委員長
（新任）中村　隆　㈱日交西部本社　代表取締役社長
（退任）渡辺　文雄

○人材育成委員会　副委員長
（新任）片浦　一郎　㈱電通名鉄コミュニケーションズ　専務取締役
（退任）後藤　哲男

○調査研究委員会　副委員長
（新任）藤原　英樹　㈱小田急エージェンシー　取締役
（退任）後藤　真哉

副支部長の委嘱

○中部支部　副支部長
（新任）新井　秀夫　㈱電通名鉄コミュニケーションズ
（退任）石川　正裕

○九州支部　副支部長
（新任）中村　隆　㈱日交西部本社　代表取締役社長
（退任）渡辺　文雄

以上

●セミナー

講演するジョセフ・クラフト氏

定期総会終了後、セミナーを開催した。ロールシャッハ・アドバイザリー株式会社代表取締役のジョセフ・クラフト氏を講師にお迎えして「日本を取り巻く世界経済と地政学」という演題でお話しいただきました。最近の日本をとりまく国際情勢、経済状況がどう動いているのか、株の値上がりとインフレは今後どうなっていくのかなど、また、日米首脳による握手の仕方の意味を紹介し、それは日米の政治にどのように表れているのかという検証もあり、毎日の生活や、今後、映像を見る時に関係する大変興味深い内容で、多くの方が熱心に聴講されていました。

ジョセフ・クラフト氏プロフィール

ロールシャッハ・アドバイザリー株式会社
代表取締役

1986年カリフォルニア大学バークレイ校卒業後、モルガン・スタンレーNYKに入社。
1987年同社東京支社に着任し、為替と債券トレーディングの共同ヘッド。
2000年以降は、マネージングディレクターを務める。コーポレート・デリバティブ・セールスのヘッド、債券営業、アジア・太平洋地域における為替営業の責任者なども歴任。
2007年ドレスナー・クラインオート証券、2010年バンク・オブ・アメリカ東京支店副支店長兼為替本部長などを経て、2015年ロールシャッハ・アドバイザリー㈱代表取締役就任し、現在に至る。
SBI FXトレード社外取締役及び ソニー・グループ株式会社社外取締役。

●懇親会

セミナー終了後、多数の皆さまに出席いただき懇親会を開催しました。まず、新井良亮会長が挨拶、お忙しい中ご来席いただいた来賓を代表して、国土交通省 鉄道局　鉄道サービス政策室長 土田宏道氏より、ご挨拶をいただきました。

中締めの挨拶をする滝久雄副会長

乾杯の発声をする赤石良治副会長

国土交通省 土田宏道氏

挨拶する新井良亮会長

新井良亮会長挨拶

多くの皆さまに、お忙しいところ足をお運びいただき、ご参加ありがとうございます。定期総会が無事終了し、心から感謝いたします。日本の経済は世界情勢も相まって大変厳しい経済情勢が続いていますが、ただ厳しいと言っているだけでは何も変わらないので、時代の先取りをしていくことで、困っている問題を解決していくことができると考えています。

本日は4年ぶりに懇親会が開かれますのでこの時間を有意義に使って、様々な情報を公開共有していただきたい。

国土交通省 鉄道局 鉄道サービス政策室長 土田宏道氏

本日は2023年定期総会が滞りなく終了したとお聞きして、お慶び申し上げます。鉄道は元々環境優先の高い乗り物だと言われていますが、優位性をアピールしつつ鉄道利用の促進を図り、公共性の高い鉄道広告の公益性の保持に向けた取り組みを協会の元で進めていくことを期待して、我々も最大限サポートしてまいります。

役員一覧（*は新任）

会長（1名）
新井　良亮　公益社団法人 日本鉄道広告協会

会長代行副会長（1名）
赤石　良治　㈱ジェイアール東日本企画

副会長（4名）
滝　久雄　㈱ＮＫＢ
杉本　公男　協立広告㈱
*川田　博之　㈱メトロアドエージェンシー
*伊藤　義彦　㈱ＪＲ西日本コミュニケーションズ

常任理事（11名）
冨田　栄次　㈱大阪オリコミ
大塚　尚司　㈱オリコム
許斐　元文　ＪＲ九州エージェンシー㈱
厚地　純夫　㈱ジェイアール東海エージェンシー
望月　敏弘　㈱春光社
三池　元　㈱電通
若菜　春孝　㈱東急エージェンシー
神田橋　治　㈱ＴＯＭＯＥ
中村　晃　㈱日交
稲川　一　㈱文宣
栗原　圭一　㈱ムサシノ広告社

理事（22名）
山口　淳　㈱小田急エージェンシー
田口　友則　小田急電鉄㈱
中村　勇　九州旅客鉄道㈱
佃　侑壱郎　近畿日本鉄道㈱
上野　賢了　㈱京急アドエンタープライズ
道本　浩司　京阪電気鉄道㈱
久保　正　㈱ジェイアール四国企画
田中　里沙　事業構想大学院大学
大塚　稔　西武鉄道㈱
大津　英敏　多摩美術大学
*新井　秀夫　㈱電通名鉄コミュニケーションズ
*鈴木　憲　東急㈱
見城　亨　東京地下鉄㈱
*丸山　智巳　東京藝術大学
*西本　雅彦　南海電気鉄道㈱
*中村　隆　㈱日交西部本社
藤　浩士　西日本鉄道㈱
春名　幸一　西日本旅客鉄道㈱
鈴木　宣幸　㈳日本雑誌協会
米田　龍司　㈱日本宣交社
*竹島　博行　東日本旅客鉄道㈱
林　雅子　北海道旅客鉄道㈱

専務理事（1名）
*薬師　晃　公益社団法人 日本鉄道広告協会

監事（3名）
清水　勇宏　㈱近宣
山本　一広　公益社団法人 日本広告審査機構
坂野　茂　㈱毎日広告社

委員会（*は新任）

総務・財務委員会
委員長　稲川　一　㈱文宣
副委員長　中村　晃　㈱日交
副委員長　小野　伸司　㈱ジェイアール東日本企画

倫理委員会
委員長　神田橋　治　㈱ＴＯＭＯＥ
副委員長　中馬　輝彦　キング鉄道広告㈱

美観風致委員会
委員長　滝　久雄　㈱ＮＫＢ
副委員長　*中村　隆　㈱日交西部本社
副委員長　田中　里沙　事業構想大学院大学

安全委員会
委員長　竹澤　康行　ＪＲ東日本メディア㈱
副委員長　城戸　正幸　㈱アド近鉄

環境委員会
委員長　冨田　栄次　㈱大阪オリコミ
副委員長　田中　幸夫　㈱大阪オリコミ

標準化委員会
委員長　大塚　尚司　㈱オリコム
副委員長　池谷　裕志　協立広告㈱

人材育成委員会
委員長　*川田　博之　㈱メトロアドエージェンシー
副委員長　*片浦　一郎　㈱電通名鉄コミュニケーションズ
副委員長　古川　義夫　㈱ジェイアール東日本企画

技術開発委員会
委員長　*伊藤　義彦　㈱ＪＲ西日本コミュニケーションズ
副委員長　望月　敏弘　㈱春光社
副委員長　山本　孝　㈱ジェイアール東日本企画
副委員長　田中　耕　㈱東急エージェンシー
副委員長　西原　洋子　㈱ＪＲ西日本コミュニケーションズ

調査研究委員会
委員長　栗原　圭一　㈱ムサシノ広告社
副委員長　*藤原　英樹　㈱小田急エージェンシー
副委員長　三池　元　㈱電通

業務近代化委員会
委員長　三池　元　㈱電通
副委員長　久保　正　㈱ジェイアール四国企画

ＰＲ委員会
委員長　厚地　純夫　㈱ジェイアール東海エージェンシー
副委員長　田中　里沙　事業構想大学院大学

アカウンタビリティ向上委員会
委員長　大塚　尚司　㈱オリコム
副委員長　三池　元　㈱電通
副委員長　高橋　隆晃　㈱博報堂ＤＹアウトドア
副委員長　栗原　圭一　㈱ムサシノ広告社

支部（*は新任）

北海道支部
支部長　長谷川　潤　㈱ＪＲ北海道ソリューションズ
副支部長　竹谷　英一　㈱交通新聞社 北海道支社

東北支部
支部長　百々　潤司　㈱ジェイアール東日本企画 仙台支社
副支部長　布　正勝　㈱近宣 仙台支社

首都圏支部
支部長　赤石　良治　㈱ジェイアール東日本企画
副支部長　滝　久雄　㈱ＮＫＢ

中部支部
支部長　厚地　純夫　㈱ジェイアール東海エージェンシー
副支部長　*新井　秀夫　㈱電通名鉄コミュニケーションズ

近畿・中国・北陸支部
支部長　*伊藤　義彦　㈱ＪＲ西日本コミュニケーションズ
副支部長　冨田　栄次　㈱大阪オリコミ

四国支部
支部長　久保　正　㈱ジェイアール四国企画
副支部長　西村　政夫　㈱アドビジョン

九州支部
支部長　許斐　元文　ＪＲ九州エージェンシー㈱
副支部長　*中村　隆　㈱日交西部本社
副支部長　庄山　和利　㈱西鉄エージェンシー

第17回「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を開催！

エキからエコ。

地球環境にやさしい電車に乗って。
大自然の色が織りなすアート。

今年の夏休みも エキからエコ。を考えましょう

公益社団法人日本鉄道広告協会（会長：新井良亮、東京都渋谷区）は、17回目となる「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を今年も実施いたします。

8月の鉄道広告を鮮やかに彩るこのキャンペーンは、ご協力をいただいた全国のJR、私鉄、地下鉄36社局の駅及び車両内のポスター枠を利用し、ポスターとデジタルサイネージで展開するものです。

テーマカラー「茜色で太陽を」「深緑色で森を」「群青色で海を」「黄土色で大地を」の4色で構成されたポスターのビジュアルとテーマポスターのメッセージは、このキャンペーンにご賛同くださる現代を代表する著名芸術家及びクリエイターの方々より、今年もボランティアで提供いただいています。

ビジュアルにこめたメッセージの詳細などは、JAFRAホームページの特設サイトでご覧いただけます。「エキからエコ」、「エキからアート」として、鉄道各社局の環境対策への取り組み、昨年のキャンペーンでのビジュアルの様子、これまでの作品を閲覧できるアーカイブス、駅や街中で目にすることのできるパブリックアート、交通に関する博物館やアクティビティなども紹介しています。こちらへも、ぜひアクセスください。
https://www.j-jafra.jp/eco/index.html

〈キャンペーンの概要〉

1. タイトル
第17回地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン

2. 全体テーマ
「エキからエコ。地球環境にやさしい電車に乗って。大自然の色が織りなすアート。」

3. ポスターテーマ
美しい環境と多様な生物

4. 実施期間
2023年8月1日（火）～8月31日（木）

5. ポスター種類
駅ポスター B0×4、B1×5種類
車内ポスター B3×4種類
駅デジタルサイネージ

6. 制作協力
ビジュアル提供：
宮田亮平
金工家／東京藝術大学名誉教授
「シュプリンゲン」
大津英敏
洋画家／多摩美術大学名誉教授
「令和の虎と富士」
手塚雄二
日本画家／東京藝術大学名誉教授
「麗人」
日比野克彦
アーチスト／東京藝術大学長
「LIFE PARTICLES」
アートディレクター：蝦名龍郎

テーマポスター

コピーライター：マキプロ
根岸礼子

7. 主催 公益社団法人日本鉄道広告協会

8. 協賛 一般財団法人日本宝くじ協会

9. 後援 環境省、国土交通省

10. 協力 Osaka Metro、小田急電鉄㈱、九州旅客鉄道㈱、京都市交通局、近畿日本鉄道㈱、京王電鉄㈱、京成電鉄㈱、京阪電気鉄道㈱、京浜急行電鉄㈱、神戸市交通局、埼玉高速鉄道㈱、相模鉄道㈱、札幌市交通局、山陽電気鉄道㈱、四国旅客鉄道㈱、首都圏新都市鉄道㈱、西武鉄道㈱、東海旅客鉄道㈱、東急電鉄㈱、東京地下鉄㈱、東京都交通局、東京モノレール㈱、東京臨海高速鉄道㈱、東武鉄道㈱、東葉高速鉄道㈱、名古屋市交通局、名古屋鉄道㈱、南海電気鉄道㈱、西日本鉄道㈱、西日本旅客鉄道㈱、阪急電鉄㈱、阪神電気鉄道㈱、東日本旅客鉄道㈱、北海道旅客鉄道㈱、横浜高速鉄道㈱、横浜市交通局

（36社局、五十音順）

宮田亮平「シュプリンゲン」

日比野克彦「LIFE PARTICLES」

大津英敏「令和の虎と富士」

手塚雄二「麗人」

●支部便り●

四国支部

支部総会を開催しました

四国支部（久保正支部長）では、6月29日（木）JRホテルクレメント高松に於いて、2023年度支部総会を開催しました。

総会では、久保支部長の挨拶後、以下の5つの議案について審議の結果、満場一致で了承されました。

(1) 2022年度事業報告
(2) 2022年度決算
(3) 2023年度事業計画（案）
(4) 2023年度予算（案）
(5) 役員改選（案）

挨拶する久保正四国支部長

また、総会後の意見交換会には、12社15名の皆様にご参加いただき、和やかに意見を交換し親睦を深められていました。

四国支部総会

編集後記

猛暑続きで、連日、危険な暑さを避けるよう報道されています。
景色もそこそこよくて、暑さを避けられるところを探してみたのですが、神社の境内で一息つきました。新宿のビルも見えるところですが、空気の循環を感じられるのは気分がいいですね。
８月１日から「エキからエコ。」キャンペーンが始まります。皆様が電車や駅で目にした、エキエコの風景お寄せください。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。 information@j-jafra.jp

●会員社の代表者、他が変更になった場合は、ホームページ（https://j-jafra.jp）の「各種届出書類」に変更届がありますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。

●次号Vol.80は10月1日発行予定です。お楽しみに。